

宇都宮市立瑞穂台小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基本的な学習態度・習慣の形成	「よい子の学習のきまり」をもとに、基本的な学習態度が身に付くようにする。 「家庭学習のすすめ」を示し、保護者の理解を得ながら家庭学習の充実と学習内容の確実な定着を図る。	昨年度と比べ、全ての学年で、「授業の始まりには着席している」や「忘れ物をしない」と肯定的に答えた児童がやや減った。 「宿題はきちんとやり、期限までに提出している。」と肯定的に答えた児童の割合は、ほとんどの学年で90%を超えている。
自分の学びを意識できる学習の工夫	授業の初めにはめあてを、最後にはまとめを全員で確認し、一人一人が授業を振り返り、自分の言葉で記す時間をとる。	「学習したことを、自分なりに分かりやすくノートにまとめている。」と肯定的に答えた児童の割合は、72%～94%と学年によって差が見られる。高学年では、昨年度に比べて増えている。
基礎基本の定着と思考力・活用力形成のための授業の工夫	既習事項の復習をスキルやAIDリルなどでしっかりと行い、当該学年の学習に生かせるようにする。 考えるために必要な既習事項を授業の中で具体的に示し、自分の考えの根拠として活用できるようにする。	復習やテストの問題のやり直しに取り組む児童が、昨年度と比べると減っている。 自分の考えを理由をあげながら話すことができると答えた児童は、市の肯定割合よりも下回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方針

- ・学校では、学習に取り組む基本的な態度や習慣を身に付けるために、「よい子の学習のきまり」をもとに学習指導を進める。家庭では、保護者の理解を得ながら、家庭学習を通して学習内容の確実な定着とより自主的な学習を進められるようにする。
- ・毎時間の「めあて」の設定と「振り返り」の時間を大切にして児童の「分かった」や「できた」を増やすことで、自分の学びを意識したり、楽しく学習に取り組んだりできるようにする。学習の目的に応じて効果的な学習形態を取り入れたり、ICTを最大限に活用したりすることで、主体的・対話的な学習を進めて深い学びに繋げていく。
- ・考えるために必要な既習事項を授業の中で具体的に示し、自分の考えの根拠として活用できるようにする。各教科において、児童自身が目的を明確にもって、伝えたいことを書く活動を取り入れたり、自分の意見やその理由、根拠を考えて文章にしたりする等の時間を意図的に設ける。